

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院150施設、有床診療所192施設のうち、報告があった病院150施設(100.0%)、有床診療所189施設(98.4%)を対象として集計した結果

○平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有している、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

《2016(平成28)年7月1日時点の病床数(稼働病床)》 → 《6年が経過した日(2022(平成34)年)における病床数(稼働病床)》

二次医療圏名	機能区分	一般	療養	計	構成比	一般	療養	計	構成比
静岡県全体	高度急性期	4,888	0	4,888	15.7%	5,070	0	5,070	16.4%
	急性期	12,681	5	12,686	40.7%	12,319	25	12,344	39.8%
	回復期	1,782	1,916	3,698	11.9%	1,975	2,097	4,072	13.1%
	慢性期	1,516	8,370	9,886	31.7%	1,425	8,071	9,496	30.7%
	合計	20,867	10,291	31,158		20,789	10,193	30,982	
01 賀茂	高度急性期	8	0	8	1.2%	8	0	8	1.2%
	急性期	230	0	230	33.2%	274	0	274	39.6%
	回復期	121	41	162	23.4%	121	41	162	23.4%
	慢性期	92	200	292	42.2%	48	200	248	35.8%
	小計	451	241	692		451	241	692	
02 熱海伊東	高度急性期	64	0	64	5.6%	64	0	64	5.6%
	急性期	551	0	551	48.3%	528	0	528	46.3%
	回復期	109	31	140	12.3%	109	63	172	15.1%
	慢性期	66	319	385	33.8%	89	287	376	33.0%
	小計	790	350	1,140		790	350	1,140	
03 駿東田方	高度急性期	739	0	739	11.8%	739	0	739	11.8%
	急性期	3,097	0	3,097	49.4%	2,950	0	2,950	47.1%
	回復期	255	401	656	10.5%	342	401	743	11.9%
	慢性期	266	1,511	1,777	28.3%	326	1,511	1,837	29.3%
	小計	4,357	1,912	6,269		4,357	1,912	6,269	
04 富士	高度急性期	70	0	70	2.5%	112	0	112	4.3%
	急性期	1,470	0	1,470	52.9%	1,417	0	1,417	54.7%
	回復期	132	237	369	13.3%	132	286	418	16.1%
	慢性期	182	688	870	31.3%	52	591	643	24.8%
	小計	1,854	925	2,779		1,713	877	2,590	
05 静岡	高度急性期	1,468	0	1,468	23.4%	1,515	0	1,515	24.1%
	急性期	2,078	0	2,078	33.1%	2,031	0	2,031	32.3%
	回復期	333	367	700	11.1%	333	417	750	11.9%
	慢性期	447	1,592	2,039	32.4%	447	1,542	1,989	31.6%
	小計	4,326	1,959	6,285		4,326	1,959	6,285	
06 志太榛原	高度急性期	251	0	251	7.6%	251	0	251	7.6%
	急性期	1,733	0	1,733	52.2%	1,743	0	1,743	53.0%
	回復期	271	125	396	11.9%	284	125	409	12.4%
	慢性期	0	938	938	28.3%	0	888	888	27.0%
	小計	2,255	1,063	3,318		2,278	1,013	3,291	
07 中東遠	高度急性期	294	0	294	9.7%	387	0	387	12.7%
	急性期	1,161	0	1,161	38.2%	1,024	0	1,024	33.7%
	回復期	251	199	450	14.8%	295	249	544	17.9%
	慢性期	0	1,138	1,138	37.4%	0	1,088	1,088	35.8%
	小計	1,706	1,337	3,043		1,706	1,337	3,043	
08 西部	高度急性期	1,994	0	1,994	26.1%	1,994	0	1,994	26.0%
	急性期	2,361	5	2,366	31.0%	2,352	25	2,377	31.0%
	回復期	310	515	825	10.8%	359	515	874	11.4%
	慢性期	463	1,984	2,447	32.1%	463	1,964	2,427	31.6%
	小計	5,128	2,504	7,632		5,168	2,504	7,672	

集計対象 31,283床

※医療機能について未選択(休棟等)の125床は、上表には含めていない。

※医療機能について未選択(休棟等)の301床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院150施設、有床診療所192施設のうち、報告があった病院150施設(100.0%)、有床診療所189施設(98.4%)を対象として集計した結果

○平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

【2016(平成28)年7月1日時点の病床数(稼働病床)】

医療圏名 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	4,888床 15.7%	8床 1.2%	64床 5.6%	739床 11.8%	70床 2.5%	1,468床 23.4%	251床 7.6%	294床 9.7%	1,994床 26.1%
	急性期	12,686床 40.7%	230床 33.2%	551床 48.3%	3,097床 49.4%	1,470床 52.9%	2,078床 33.1%	1,733床 52.2%	1,161床 38.2%	2,366床 31.0%
		回復期	3,698床 11.9%	162床 23.4%	140床 12.3%	656床 10.5%	369床 13.3%	700床 11.1%	396床 11.9%	450床 14.8%
	慢性期	9,886床 31.7%	292床 42.2%	385床 33.8%	1,777床 28.3%	870床 31.3%	2,039床 32.4%	938床 28.3%	1,138床 37.4%	2,447床 32.1%
		合計	31,158床	692床	1,140床	6,269床	2,779床	6,285床	3,318床	3,043床
	一般病床	高度急性期	4,888床	8床	64床	739床	70床	1,468床	251床	294床
急性期		12,681床	230床	551床	3,097床	1,470床	2,078床	1,733床	1,161床	2,361床
回復期		1,782床	121床	109床	255床	132床	333床	271床	251床	310床
慢性期		1,516床	92床	66床	266床	182床	447床	0床	0床	463床
小計		20,867床	451床	790床	4,357床	1,854床	4,326床	2,255床	1,706床	5,128床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	5床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	5床
	回復期	1,916床	41床	31床	401床	237床	367床	125床	199床	515床
	慢性期	8,370床	200床	319床	1,511床	688床	1,592床	938床	1,138床	1,984床
	小計	10,291床	241床	350床	1,912床	925床	1,959床	1,063床	1,337床	2,504床

※集計対象31,283床のうち、医療機能について未選択の125床は、上表には含めていない。



【6年が経過した日(2022(平成34))年における病床数(稼働病床)】

医療圏名 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	5,070床 16.4%	8床 1.2%	64床 5.6%	739床 11.8%	112床 4.3%	1,515床 24.1%	251床 7.6%	387床 12.7%	1,994床 26.0%
	急性期	12,344床 39.8%	274床 39.6%	528床 46.3%	2,950床 47.1%	1,417床 54.7%	2,031床 32.3%	1,743床 53.0%	1,024床 33.7%	2,377床 31.0%
		回復期	4,072床 13.1%	162床 23.4%	172床 15.1%	743床 11.9%	418床 16.1%	750床 11.9%	409床 12.4%	544床 17.9%
	慢性期	9,496床 30.7%	248床 35.8%	376床 33.0%	1,837床 29.3%	643床 24.8%	1,989床 31.6%	888床 27.0%	1,088床 35.8%	2,427床 31.6%
		合計	30,982床	692床	1,140床	6,269床	2,590床	6,285床	3,291床	3,043床
	一般病床	高度急性期	5,070床	8床	64床	739床	112床	1,515床	251床	387床
急性期		12,319床	274床	528床	2,950床	1,417床	2,031床	1,743床	1,024床	2,352床
回復期		1,975床	121床	109床	342床	132床	333床	284床	295床	359床
慢性期		1,425床	48床	89床	326床	52床	447床	0床	0床	463床
小計		20,789床	451床	790床	4,357床	1,713床	4,326床	2,278床	1,706床	5,168床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	25床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	25床
	回復期	2,097床	41床	63床	401床	286床	417床	125床	249床	515床
	慢性期	8,071床	200床	287床	1,511床	591床	1,542床	888床	1,088床	1,964床
	小計	10,193床	241床	350床	1,912床	877床	1,959床	1,013床	1,337床	2,504床

※集計対象31,283床のうち、医療機能について未選択の301床は、上表には含めていない。

稼働病床ベース

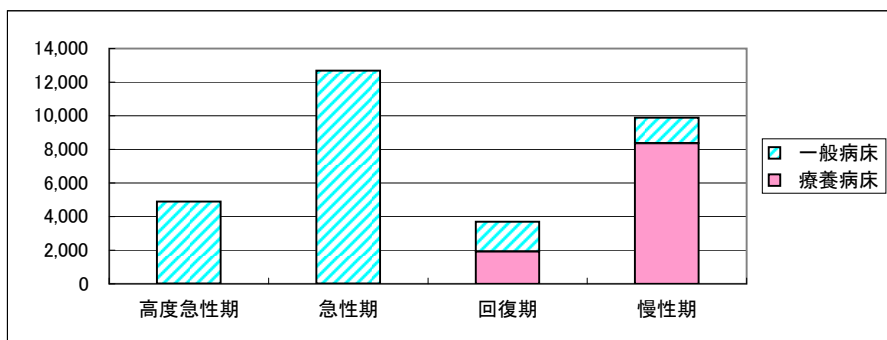
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる342施設（病院150施設、有床診療所192施設）のうち、339施設（99.1%）（病院150施設（100.0%）、有床診療所189施設（98.4%））が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、34,377床（病院32,082床、診療所2,295床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

報告のあった339施設（病院150施設、有床診療所189施設）の稼働病床31,283床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

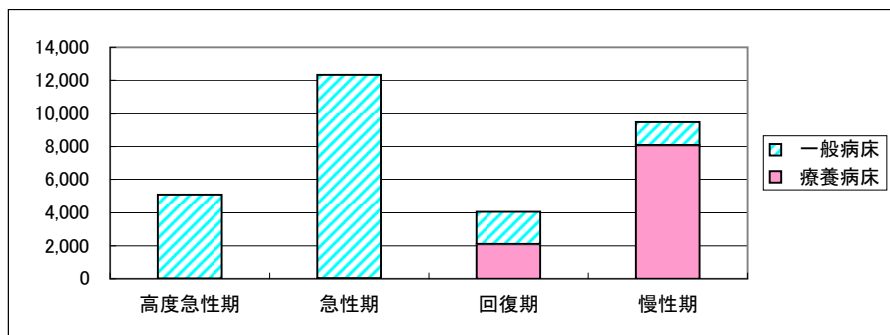


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,888	12,681	1,782	1,516	20,867
療養病床	0	5	1,916	8,370	10,291
合計	4,888	12,686	3,698	9,886	31,158
構成比	15.7%	40.7%	11.9%	31.7%	100.0%

(注)集計対象31,283床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が125床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,070	12,319	1,975	1,425	20,789
療養病床	0	25	2,097	8,071	10,193
合計	5,070	12,344	4,072	9,496	30,982
構成比	16.4%	39.8%	13.1%	30.7%	100.0%

(注)集計対象31,283床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が301床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

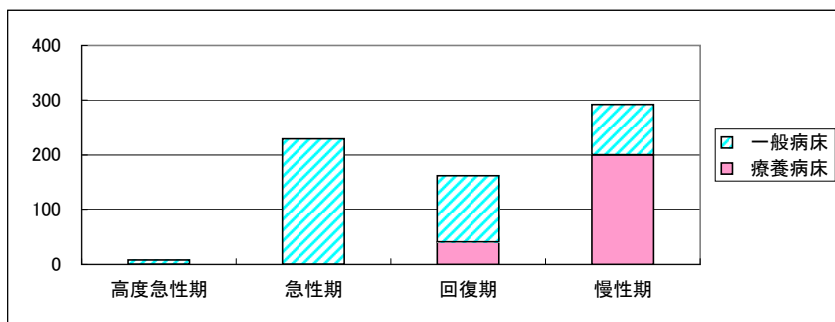
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる10施設（病院6施設、有床診療所4施設）のうち、10施設(100.0%)(病院6施設(100.0%)、有床診療所4施設(100.0%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、879床（病院843床、診療所36床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期、回復期の構成比は変化がなく、慢性期の構成比が減少し、急性期の構成比が増加

※報告のあった10施設（病院6施設、有床診療所4施設）の稼働病床692床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

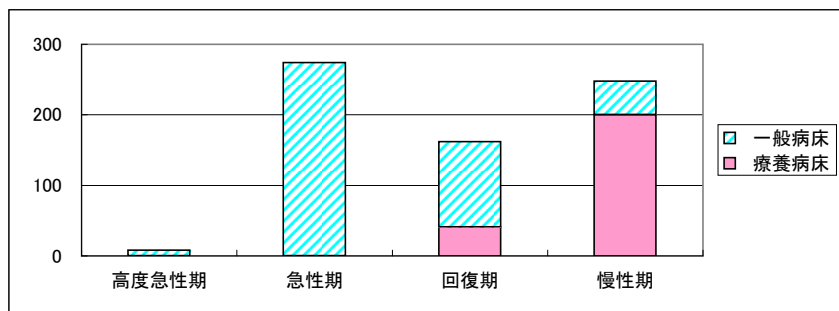


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	230	121	92	451
療養病床	0	0	41	200	241
合計	8	230	162	292	692
構成比	1.2%	33.2%	23.4%	42.2%	100.0%

(注)集計対象692床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	274	121	48	451
療養病床	0	0	41	200	241
合計	8	274	162	248	692
構成比	1.2%	39.6%	23.4%	35.8%	100.0%

(注)集計対象692床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床は無い。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

・報告対象となる20施設（病院8施設、有床診療所12施設）のうち、20施設(100.0%)(病院8施設(100.0%)、有床診療所12施設(100.0%))が報告済み。

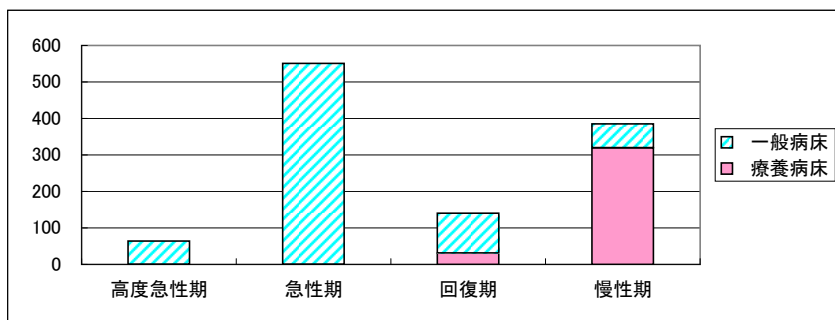
・報告対象施設における許可病床数合計は、1,331床(病院1,129床、診療所202床、平成28年4月1日現在)

・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

・6年後、高度急性期の構成比は変化がなく、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

※報告のあった20施設（病院8施設、有床診療所12施設）の稼働病床1,140床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

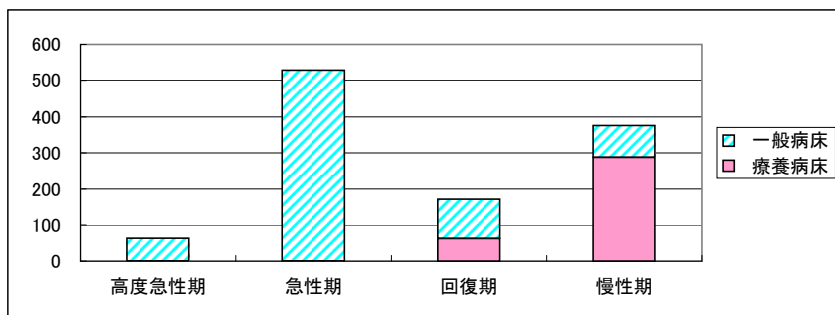


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	551	109	66	790
療養病床	0	0	31	319	350
合計	64	551	140	385	1,140
構成比	5.6%	48.3%	12.3%	33.8%	100.0%

(注)集計対象1,140床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	528	109	89	790
療養病床	0	0	63	287	350
合計	64	528	172	376	1,140
構成比	5.6%	46.3%	15.1%	33.0%	100.0%

(注)集計対象1,140床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

稼働病床ベース

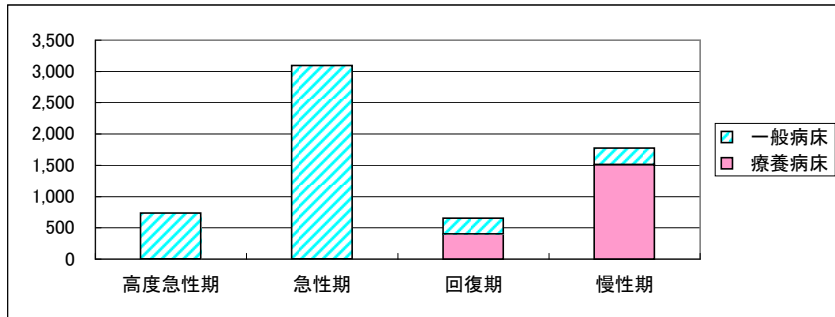
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる90施設（病院43施設、有床診療所47施設）のうち、89施設(98.9%)(病院43施設(100.0%)、有床診療所46施設(97.9%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、7,354床(病院6,784床、診療所570床、平成28年4月1日現在)
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期の構成比は変化がなく、急性期の構成比が減少し、回復期、慢性期の構成比が増加

※報告のあった89施設(病院43施設、有床診療所46施設)の稼働病床6,308床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

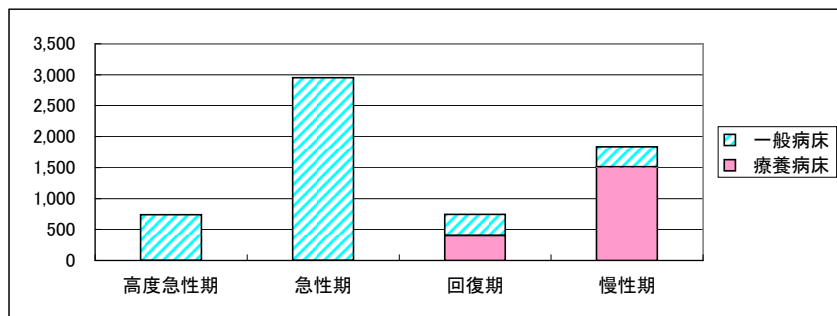


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	739	3,097	255	266	4,357
療養病床	0	0	401	1,511	1,912
合計	739	3,097	656	1,777	6,269
構成比	11.8%	49.4%	10.5%	28.3%	100.0%

(注)集計対象6,308床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が39床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	739	2,950	342	326	4,357
療養病床	0	0	401	1,511	1,912
合計	739	2,950	743	1,837	6,269
構成比	11.8%	47.1%	11.9%	29.3%	100.0%

(注)集計対象6,308床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が39床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

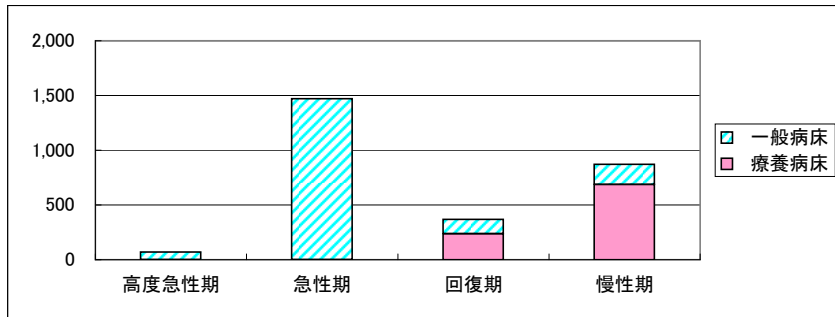
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる39施設（病院14施設、有床診療所25施設）のうち、39施設(100.0%)（病院14施設(100.0%)、有床診療所25施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,020床（病院2,701床、診療所319床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった39施設（病院14施設、有床診療所25施設）の稼働病床2,779床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

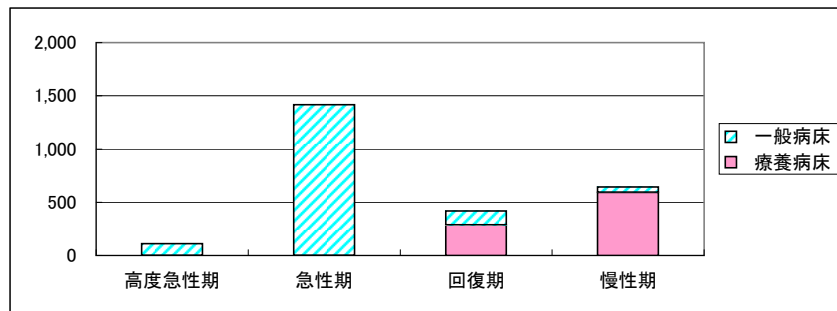


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	70	1,470	132	182	1,854
療養病床	0	0	237	688	925
合計	70	1,470	369	870	2,779
構成比	2.5%	52.9%	13.3%	31.3%	100.0%

(注)集計対象2,779床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	112	1,417	132	52	1,713
療養病床	0	0	286	591	877
合計	112	1,417	418	643	2,590
構成比	4.3%	54.7%	16.1%	24.8%	100.0%

(注)集計対象2,779床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が189床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

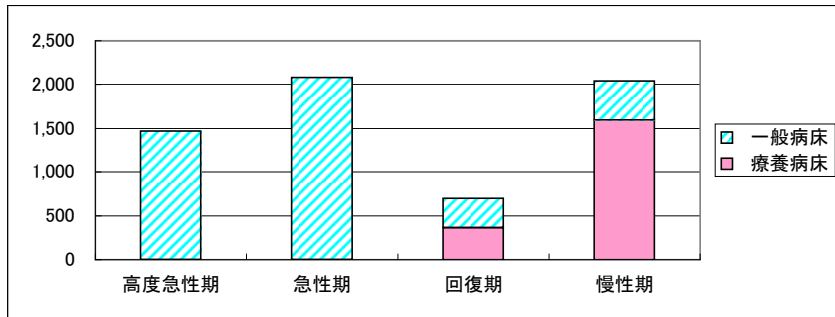
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる51施設（病院24施設、有床診療所27施設）のうち、51施設(100.0%)（病院24施設(100.0%)、有床診療所27施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、6,878床（病院6,597床、診療所281床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった51施設（病院24施設、有床診療所27施設）の稼働病床6,294床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

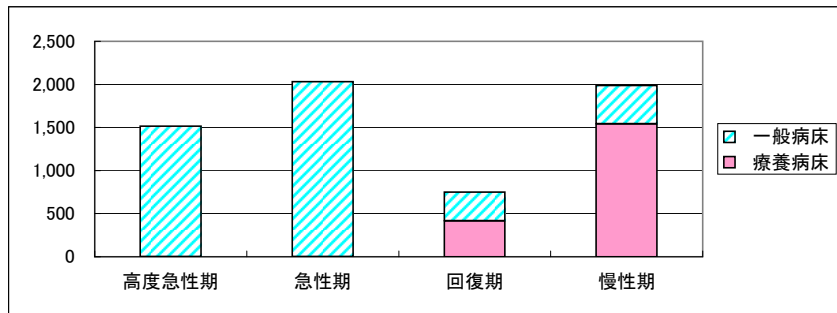


(単位: 床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,468	2,078	333	447	4,326
療養病床	0	0	367	1,592	1,959
合計	1,468	2,078	700	2,039	6,285
構成比	23.4%	33.1%	11.1%	32.4%	100.0%

(注)集計対象6,294床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が9床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位: 床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,515	2,031	333	447	4,326
療養病床	0	0	417	1,542	1,959
合計	1,515	2,031	750	1,989	6,285
構成比	24.1%	32.3%	11.9%	31.6%	100.0%

(注)集計対象6,294床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が9床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

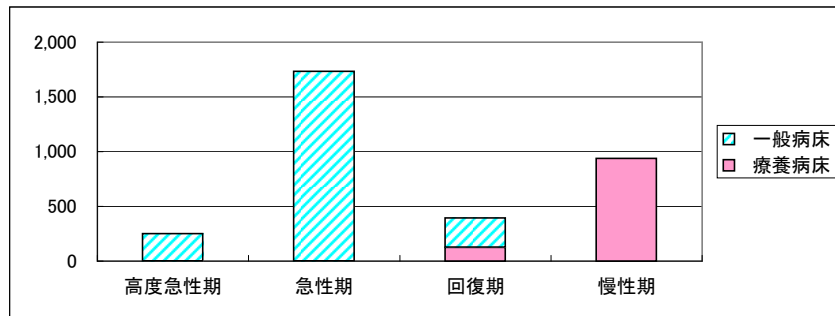
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる27施設（病院11施設、有床診療所16施設）のうち、27施設(100.0%)（病院11施設(100.0%)、有床診療所16施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,636床（病院3,470床、診療所166床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期の構成比は変化がなく、慢性期の構成比が減少し、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった27施設（病院11施設、有床診療所16施設）の稼働病床3,341床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

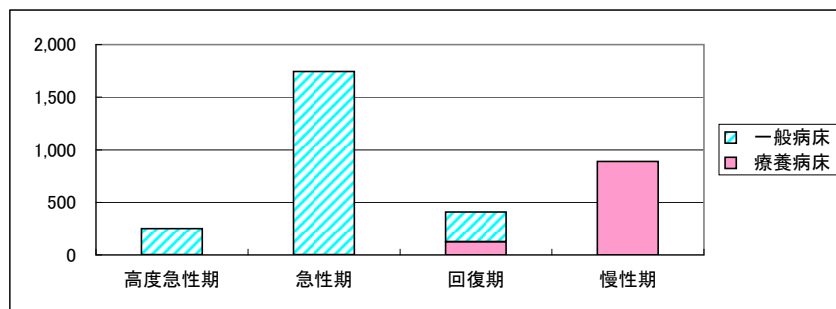


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,733	271	0	2,255
療養病床	0	0	125	938	1,063
合計	251	1,733	396	938	3,318
構成比	7.6%	52.2%	11.9%	28.3%	100.0%

(注)集計対象3,341床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が23床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,743	284	0	2,278
療養病床	0	0	125	888	1,013
合計	251	1,743	409	888	3,291
構成比	7.6%	53.0%	12.4%	27.0%	100.0%

(注)集計対象3,341床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が50床分あり、上表には含めていない。

稼働病床ベース

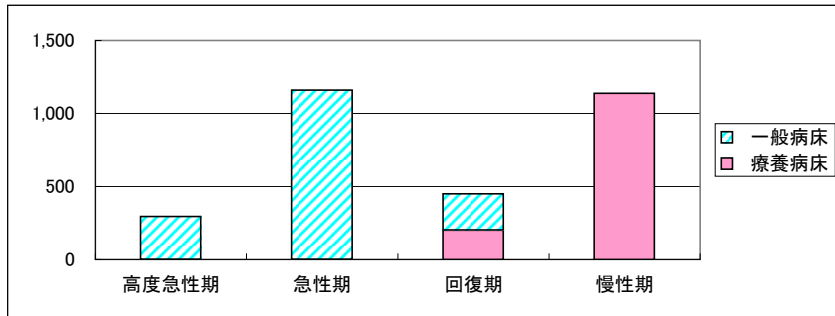
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる31施設（病院14施設、有床診療所17施設）のうち、31施設(100.0%)（病院14施設(100.0%)、有床診療所17施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,177床（病院2,966床、診療所211床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった31施設（病院14施設、有床診療所17施設）の稼働病床3,043床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（稼働病床）》

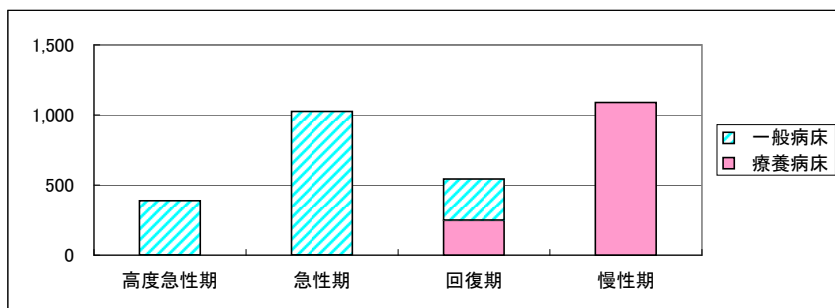


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	294	1,161	251	0	1,706
療養病床	0	0	199	1,138	1,337
合計	294	1,161	450	1,138	3,043
構成比	9.7%	38.2%	14.8%	37.4%	100.0%

(注)集計対象3,043床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（稼働病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	387	1,024	295	0	1,706
療養病床	0	0	249	1,088	1,337
合計	387	1,024	544	1,088	3,043
構成比	12.7%	33.7%	17.9%	35.8%	100.0%

(注)集計対象3,043床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

稼働病床ベース

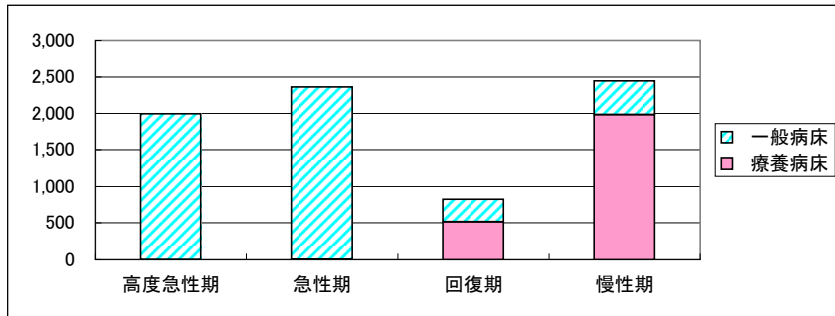
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる74施設（病院30施設、有床診療所44施設）のうち、72施設(97.3%)(病院30施設(100.0%)、有床診療所42施設(95.5%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、8,102床(病院7,592床、診療所510床、平成28年4月1日現在)
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期の構成比は変化がなく、高度急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

※報告のあった72施設(病院30施設、有床診療所42施設)の稼働病床7,686床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

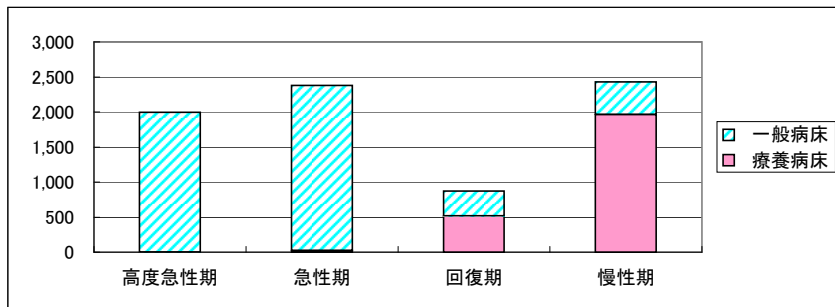


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,994	2,361	310	463	5,128
療養病床	0	5	515	1,984	2,504
合計	1,994	2,366	825	2,447	7,632
構成比	26.1%	31.0%	10.8%	32.1%	100.0%

(注)集計対象7,686床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が54床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,994	2,352	359	463	5,168
療養病床	0	25	515	1,964	2,504
合計	1,994	2,377	874	2,427	7,672
構成比	26.0%	31.0%	11.4%	31.6%	100.0%

(注)集計対象7,686床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。